

## 文化財記録映画シリーズ

No.	タイトル	時間	制作年	色	音声	内容
1	浅草安来節	23:21	1979	カラー	あり	かつて一世を風びした安来節。その在りし姿と、有志による保存の様態を記録。
2	鳶職(とび)—江戸は生きている—	30:58	1980	カラー	あり	江戸の町を火災から護った鳶職。今は仕事師として、浅草の年中行事に関わる姿を描く。
3	谷中のすまいとくらし	17:50	1981	カラー	あり	江戸、明治、大正の面影を留める坂と寺の町、谷中。そこに今も残る古い建物と人の暮らしを紹介。
4	下町の歳時記	25:13	1983	カラー	あり	浅草寺の初詣から寛永寺の除夜の鐘に至る台東区内各地の年中行事を紹介。
5	隅田川—歴史とのめぐりあい—	24:33	1986	カラー	あり	隅田川を中心に下町の産業、文化、庶民の生活を歴史的に描いている。
6	浅草猿若町—小道具を支える職人たち—	29:03	1988	カラー	あり	芝居の小道具とその職人たちを通して、猿若町が歩んだ時代とはどうだったのかを探る。
7	谷中の富突	30:08	1990	カラー	あり	江戸期、谷中で盛んだった富突が、どのように始まり、庶民の娯楽に発展していったかを探る。
8	”小僧”のいた頃—路地のあった下町の話—	26:30	1993	カラー	あり	江戸時代から明治、大正、そして関東大震災後の区画整理から現在へと竹町を中心とした町の発展の歴史を探る。
9	札差—御蔵前 泉屋—	34:10	1996	カラー	あり	蔵前の札差は、江戸文化の担い手。新発見の資料を基に描く札差の実態。
10	上野の山の清水堂	28:23	1998	カラー	あり	平成2年より7年間に及ぶ重要文化財寛永寺清水堂の解体・復元工事を歴史とあわせて描いている。
11	橋場—まちと川のものごたがり—	32:05	2001	カラー	あり	景色風雅な地だった江戸時代の橋場が、明治の近代化の中で変貌していく姿を追った記録映画。
12	上野 土の中からのメッセージ	28:43	2003	カラー	あり	人が上野にその足跡を残してから2万年。その足取りを発掘調査から探る。
13	下谷の富士講—富士塚をめぐる人々—	34:49	2005	カラー	あり	小野照崎神社にある国の重要有形民俗文化財に指定された富士塚と、江戸時代の富士信仰についてまとめた作品。
14	掘り出された下町	29:19	2008	カラー	あり	発掘の調査から明らかにされた、低地を開発して生きた人々の生活の記録。
15	ものづくりを支える人々	35:20	2011	カラー	あり	伝統技術を受け継ぐ職人の技術と、それを支える道具をめぐる人々の活動とつながりを紹介。